

2019 年度（公社）日本地すべり学会 事業報告

1. 総務部

(1) 行事

① 通常社員総会の開催

- ・ 日時：2019 年 6 月 14 日
- ・ 場所：学術総合センター内 一橋大学一橋講堂

② 理事会の開催

- ・ 2019 年 5 月 16 日、8 月 20 日、11 月 26 日、2020 年 3 月 13 日
- ・ 電磁的記録による理事会審議：7 月 1 日電子メール発信、7 月 9 日までに電子メール受信

③ 執行部会の運営事務

- ・ 2019 年 4 月 26 日、8 月 2 日、11 月 12 日、2020 年 3 月 2 日

④ 役員選挙の運営事務

- ・ 選挙管理委員会：(第 1 回)2019 年 12 月 17 日、(第 2 回)2020 年 3 月 10 日
- ・ 選挙公示：2020 年 1 月 27 日、投票締め切り：3 月 2 日、開票：3 月 10 日、
- ・ 開票結果・当選者公示：3 月 17 日

(2) 庶務

- ・ 社員総会、理事会及び執行部会に係る議事資料及び議事録の作成
- ・ 細則の改訂
2019 年 5 月 16 日理事会：編集出版部運営細則
2019 年 8 月 20 日理事会：表彰細則、発注関係事務処理細則
2020 年 3 月 13 日理事会：代議員選挙細則
- ・ 国際会員の廃止と Springer との購読契約（2019 年 8 月 20 日 理事会）
- ・ 加入団体の見直し（2019 年 11 月 26 日、2020 年 3 月 13 日 理事会）

(3) 財務

- ・ 予算執行状況の確認
- ・ 決算書及び予算書の作成
- ・ 監査立ち会い：2019 年 5 月 9 日

(4) 広報

- ・ 学会ホームページの改訂

(5) 部会

- ・ 2019 年 8 月 21 日、メール審議(随時)

2. 事業計画部

(1) 2019 年度総会及びシンポジウムの開催

- ・ 日 程：2019 年 6 月 14 日
- ・ 会 場：一橋大学一橋講堂
- ・ テーマ：多発する斜面災害の減災・防災に向けた新技術の活用

- ・意見交換会：一橋大学一橋講堂
- ・参加人数：175名

(2) 第59回研究発表会及び現地見学会の開催

① 県民講演会

- ・日程：2019年8月20日
- ・会場：KKRホテル熊本
- ・参加人数：147名

② 特別講演・研究発表会・意見交換会

- ・日程：2019年8月21日～8月22日
- ・会場：KKRホテル熊本
- ・参加人数：511名
- ・特別講演：「熊本地震から3年」 北園 芳人((株)中央土木コンサルタント、熊本大学名誉教授)

③ 現地見学会

- ・日程：2019年8月23日
- ・見学コース：Aコース（天草地域）：善徳地すべりと天草地域の地質を学ぶ
Bコース（上益城郡～阿蘇地域）：熊本が誇る農業施設と熊本地震災害
Cコース（阿蘇地域）：熊本地震に伴う阿蘇地域の災害
- ・参加人数：95名

(3) 2019年地すべり・土石流災害調査報告会の開催

- ・日程：2019年11月26日
- ・会場：ハロー貸し会議室新橋
- ・研究調査部と共催

(4) 部会の開催

- ・日程：2019年4月12日、6月10日、8月22日、10月7日、12月9日、
2020年2月14日
- ・2019年度シンポジウムの準備と総括、2020年度シンポジウムの準備
日程、会場、テーマ、話題、進行の検討
- ・第58回研究発表会の準備と総括、第59回研究発表会の準備
日程、会場、予算、運営、講演集、若手優秀発表賞の検討

3. 編集出版部

(1) 日本地すべり学会誌編集委員会

- ① 編集委員会の開催 2019年4月～2020年3月まで12回開催(月1回、3月はML会議)
- ② 日本地すべり学会誌 Vol. 56. 3～6、特別号（電子版）、Vol. 57. 1～57. 2 計7号の発行
 - ・特集号「多発する斜面災害の軽減・防止に向けた新技術の活用」
 - ・特集号「地すべり調査・対策における高精度地形データの利活用」
 - ・特別号「豪雨によるテフラ被覆斜面の表層崩壊予測に向けて」（電子版）
 - ・特集号「気候変動に対応した豪雨の予測手法と斜面对策」
 - ・シリーズ：「新用語集 地すべりキーワード101」の連載継続
 - ・シリーズ：「地すべり探訪」の連載継続

- ・ 賛助会員による「わが社の技術」の継続
 - ③技術報告賞および査読者賞の候補者の推薦
 - ④投稿規定等の改訂
 - ・ 文言の統一し、簡潔な文章に修正
 - ・ 上の修正を英語版にも適用
 - ⑤研究不正に対する対応(掲載論文の点検・評価及び報告書作成)
- (2) 出版委員会
- ①委員会の開催
 - ・ 第1回：2019年4月25日
 - ②販売図書管理について本年度計画作成(理事会報告)
 - ③編集出版部運営細則改定(理事会承認)
 - ④消費税増税時(2019年10月)の販売価格等の検討
 - ⑤出版細則改訂に関する検討
 - ⑥内規等の作成(理事会報告)
 - ・ 出版物管理内規・出版物管理の手引き作成
 - ・ 出版物発行申請書様式の変更
 - ⑦出版物発行申請書受付・対応 1件
 - ・ 申請書受付4月25日、修正申請書受付7月23日(2018年度に予備審査済)
 - ・ 審査終了8月14日、理事会審議・決議8月20日(出版許可)
 - ・ 申請者への通知、出版費用計上

4. 研究調査部

(1) 研究助成

2018年度からの継続案件は1件であったため、新規1件を公募した。

(継続)

- ・ 地すべりの全域運動モニタリングで、その運動に寄与する作用を究明する(2017~2019年度)
代表 渡邊達也・・・3年目

(新規)

- ・ 白馬大雪渓周辺の岩盤斜面の連続モニタリング:(2019~2021年度)
代表 奈良間千之

(2) 地すべり・土石流災害調査報告会

2018年度及び2018年度に学会員が実施した緊急災害調査等の内容について地すべり・土石流災害調査報告会を開催した。日程等は以下の通りである。

- ・ 日時：2019年11月26日(火) 15時00分~17時00分
- ・ 場所：ハロー貸会議室新橋 H 会議室
- ・ 参加人数：64名
- ・ 報告内容：
 - 開会あいさつ (笹原克夫)
 - 2019年・2018年など複合災害化する九州北部の山地豪雨災害(久保田哲也)
 - 2018年7月豪雨による広島県の土砂災害について(中井真司)
 - 無降雨期間も動く地すべり—2018年7月豪雨における高知県内の事例(吉村典宏)

追加質疑

(3) 研究委員会の活動

2019年度は以下の研究委員会活動を実施した。

- ① 斜面動態モニタリングデータに基づく崩壊発生予測研究委員会(代表：笹原克夫)
- ② 雪氷圏の地すべり研究委員会(代表：岡本隆)
- ③ 地震時地すべり研究委員会(代表：土井一生)
- ④ すべり面および移動体の物質科学・構造研究委員会(代表：中村真也)
- ⑤ 地すべり地形判読の先端的な技術伝承手法の開発研究委員会(代表：佐藤剛)

また新たな研究委員会の公募を行い、以下の1件が採択された。

- ⑥ 地すべりブロックの設定に関する研究委員会(代表：林一成) 2020年5月～2023年4月

⑥について委員の公募を行うと共に、③についても委員の追加公募を行った。

(4) NHK との覚書

日本放送協会（NHK）が平成30年12月12日千葉県富津市小久保で実施した現地斜面崩壊実験に関しては、その企画当初より当学会員への情報収集および具体的方法等について相談があり、過去の実施例の情報提供、現地斜面でのモニタリング等の協力がなされた。

実験実施後、NHKより映像を含めたデータの活用を広く進めたいという番組の主旨から、本実験を参加組織による共同実験と位置づけることにより、実験時に記録された情報については共有したいとの意向が示された。当該の映像・観測データは斜面防災のために貴重であり当学会として活用すべきであるとの立場から、NHKと当学会との間で当該記録の共有に関する覚書を交わすこととし、覚書の作成と、NHKとの内容の調整を実施した。調整後の最終案が3月13日の本学会理事会で了承された。

(5) 研究調査部会

部会を以下の通り開催した。

- ・日時：2019年8月20日（火）12時30分～14時00分
- ・場所：KKRホテル熊本3F（立田・花岡）

5. 国際部

(1) 2019年度定例会議 ICL 拡大会議

(2019年8月22日、熊本)

- ① 日本地すべり学会として提出した4セッションに関する説明と意見徴収を行った。
国内企業の積極的な参加を呼びかける方針となった。
- ② 具体的な日程の確認と連絡。
- ③ 開催に向けての分掌確認。

(2) 活動内容

- ① 斜面防災世界フォーラム(2020):WLF5 組織委員会・準備会議
- ② WLF5 訪日研究者に対する学術講演開催企画
- ③ IPL 関連業務(ICL 総会出席等)への適宜対応
- ④ 学術雑誌 Landslides の編集作業協力
- ⑤ その他の協力

(3) その他の継続審議課題の検討

- ・新たな国際会議の企画、運営支援の可能性
- ・SATREPS に関連したシンポジウムの企画
- ・日本地すべり学会の出版物の ICL 経由の宣伝
- ・研究調査部会の「技術指針の国際対応」委員会との連携

6. 表彰委員会

(1) 学会賞(論文賞・技術報告賞・査読者賞・研究奨励賞・谷口賞・国際賞・その他の賞)の審査
表彰委員会にて審議

論文賞：該当無し、技術報告賞：木村 誇（国立研究開発法人防災科学技術研究所）、
堀松 崇（株式会社 興和）、査読者賞：川邊 洋（新潟大学名誉教授）、
研究奨励賞：該当なし、谷口賞：該当なし、国際賞：該当なし、
学会活動貢献賞：日本地すべり学会事業計画部（団体）

(2) 理事会へ表彰委員会の審議結果を報告し審議：2019年5月16日

(3) 第58日本地すべり学会研究発表会の表彰式で表彰状授与：2019年8月21日

(4) 2020年度の候補募集

- ・会員向けメール、学会誌(Vol. 56, No. 6)、及び学会ホームページで推薦公募
締め切り：2020年3月1日

7. 解説委員会

災害発生時の緊急マスコミ対応や一般市民からの問合せなど、以下の案件に対応した。

| 案件 | 日付 | 依頼元 | 内容 | 主対応者 |
|-------------|----------|------------------------|---|------|
| 九州の豪雨 | 2019/7/2 | フジテレビ) ライブニュースサイト | ・深層崩壊の説明 ・メカニズムの説明（可能なら簡単な実験映像を流したい。） | 佐藤剛 |
| | 7/3 | テレビ朝日) Good Morning | 平成29年度関東支部のシンポジウム資料から引用したい。P23～24、地附山地すべりで、「大規模滑落は降雨が止んでから5日後のことである。」 | 鈴木英則 |
| 福島県いわき市の崖崩れ | 8/26 | 福島中央テレビ | | 榎田充哉 |
| | 8/26 | TBS テレビ | | 八木浩司 |
| | 8/27 | 一般市民 | 音波を使った地すべりの予知研究について相談したい。 | 榎田充哉 |
| | 9/4 | 岡山県産業振興財団 | 県の（特定の）企業の商品についてアドバイスが欲しい。 | 鈴木英則 |
| | 10/11 | 日テレ) 番記者 | 台風19号で発生する土砂災害の理由とその対策について解説 | |

| | | | | |
|--------------------------------|---------------|-------------------------------------|--|--------------|
| | 10/19 | 横浜市緑区の 竹山団地 住宅管理組合 防災対策委員長 | 団地内の石垣で囲われた湧水の保全方法を 知りたい。 雨が降ると砂が流出する。 | 八木浩司 |
| | 11/18 | TBS の番組制作) (株) ロングテイル | ・日本の地盤保全技術などは世界でも最先 端なのか？ ・最先端な場合、なぜ最先端なのか？ ・日本の技術が向上した要因や事件など ・日本の技術が実際に他の国で使用され たりしているのか（具体例などあれば嬉し いです） | 落合博貴 |
| | 11/22 | フジテレビ) 奇跡体験！ アンビリバボー」 | 「奇跡体験！アンビリバボー」（フジテレ ビ、毎木曜日に放映）の番組制作にあたり、 ナレーションの文言とCGのイメージが、学 術的に間違っていないか教えてほしい。 | 落合博貴 |
| | 12/5 | Seychelles 共和 国の地形学者 | 地すべりについて、学会は教育を提供して いるか？ | 新井場 公德 |
| | 2020/ 1/21 | Tim Hartel | 地附山地すべりの観測データがないか？ | 綱木亮介 福岡輝旗 |
| | 3/9 | 弁護士) 後潟伸吾 | 地すべりの可能性があるという、不動産の 瑕疵を争点とした裁判で、 専門家のアドバイスが欲しい。 | 稲垣秀揮 |
| 地すべり 概成の 判定基準 | 3/19 | (株) 鹿渡工業 | 「地すべり概成の判定基準」（2019年4月 の東北支部シンポジウムでの綱木氏講演） についての資料が欲しい。 | 綱木亮介 |
| 斜面安定 モニタリング システムの 商業化 | 3/31 | LMU Munich and METER Group | 斜面安定モニタリングシステムの商業化な どについて相談したい。 | 矢部満 |

8. ICL 委員会

- (1) 第1回委員会 2019年6月6日 学会会議室 参加者7名
 - ・今年度活動計画検討、CDセッション準備状況
- (2) 第2回委員会 2019年8月22日 KKRホテル熊本会議室「天草」 参加者8名
 - ・CDセッション準備状況、広報
- (3) ICL-IPL会議（パリ）2019年11月16-19日—地すべり学会からICL委員長出席
 - ・WLF5に関する討議ほか
- (4) WLF5の広報（学会誌、HP、学会行事での説明会等）

9. 会員数対策 WG

(1) 若手対策 WG

若手対策事業の実施(各支部主催)

- ・北海道支部
実施事業：第1回若手の会（ベテランおよび中堅技術者による話題提供と意見交換）
日時：2019年8月5日
参加者数：会員14名（うち若手8名）、非学会員7名
- ・東北支部
実施事業：「斜面変動研究の次世代コロキウム」
 - ・2019年8月3日：全体会1回目 参加者18名（若手8名、中堅6名、ベテラン4名）
 - ・2019年10月11日：全体会2回目 参加者13名（若手7名、中堅4名、ベテラン2名）
 - ・2019年6月1日：キャップロック、地下水分科会 参加者3名
 - ・2019年11月30日：応用地形判読分科会 参加者6名
- ・関東支部
実施事業：「火山の地形・地質を学ぶ基礎技術講習会～貞観噴火による富士山麓の溶岩地形」
日時：2019年10月17日
参加者数：会員18名（うち若手6名）、非学会員10名
- ・中部支部
実施事業：地すべり地フェスティバル in 姥捨（台風19号影響のため中止）
企画会議を5/11、5/25、6/28、7/15、8/9、10/12の6回実施
参加者数：台風19号影響のため中止（0名）、企画を担当した若手：9名
- ・関西支部
実施事業：若手研究発表会（研究発表5件、京大防災研見学）
日時：2019年4月10日
参加者数：10名

(2) シニア対策 WG

- ・2019年8月21日：運営会
- ・2019年5月18日：春期談話会（講師：小俣新重郎氏・上野将司氏、参加者35名）
- ・2019年9月3日～9日：イタリア バイオントダム巡検（参加者21名）
- ・2019年10月10日：国土地理院「地図と測量の科学館」見学（参加者12名）

10. 斜面防災技術国際化委員会

(1) 第3委員会

- ・日 時：2019年7月4日（木）
- ・参加者：8名
- ・場 所：（一社）斜面防災対策技術協会 会議室
- ・会議内容：原稿進捗状況の確認、今後の予定検討

(2) 第4委員会

- ・日 時：2019年8月21日（水）
- ・参加者：5名
- ・場 所：KKRホテル熊本 会議室市房
- ・会議内容：原稿進捗状況の確認、今後の予定検討

(3) 第5委員会

- ・日 時：2019年11月26日（火）
- ・参加者：5名

- ・場 所：(一社) 斜面防災対策技術協会 会議室
- ・会議内容：原稿進捗状況の確認、今後の予定検討

11. 北海道支部

(1) 総会、研究発表会

- ・日 時：2019年4月26日
- ・参加者：219名(会員51、一般参加168)
- ・場 所：北海道大学学術交流会館(札幌市)
- ・研究発表会：研究発表会 計15件
特別講演『北海道中央部山地斜面における火山灰層の分布と胆振東部地震による斜面崩壊』
(石川県公立大学法人 石川県立大学環境科学科 柳井清治教授)

(2) 第1回運営委員会

- ・日 時：2019年7月19日
- ・参加者：27名
- ・場 所：明治コンサルタント(株)北海道本店 第三弘安ビル 4F 会議室
- ・会議内容：2019年度事業計画・実施状況、予算、会員状況、本部動向、その他

(3) 第2回運営委員会

- ・日 時：2020年2月13日
- ・参加者：27名
- ・場 所：日本工営(株)札幌支店 会議室
- ・会議内容：2019年度事業報告・決算見込み報告、2020年度 事業計画・予算(案)
本部動向、その他(第60回北海道大会に向けて)

(4) 5学会連絡会 第3回定例会

- ・日 時：2019年1月7日
- ・参加者：14名(土木学会、地盤工学会、砂防学会、農業農村工学会、日本地すべり学会の
北海道支部の役員および事務局)
- ・場 所：(国法)北海道大学 ファカルティハウス エンレイソウ(札幌市)
- ・内 容：各支部の2019年度活動報告及び2020年度活動概要について
今後の連携に関する意見交換について

(5) 巡検部活動

現地検討会「平成30年胆振東部地震時の岩盤地すべりによる河道閉塞(日高幌内川)」

- ・日 時：2019年9月20日
- ・参加者：49名
- ・見学地：厚真町日高幌内川流域
- ・案内者：早川 智也氏 高貝 暢浩氏(日本工営(株))
- ・共 催：北海道地すべり学会、(一社)日本応用地質学会北海道支部、
北海道応用地質研究会との共催
- ・協 賛：(一社)北海道地質調査業協会、(一社)斜面防災対策技術協会北海道支部
北海道地すべり防止工事士会

(6) 広報部活動

- ・研究発表会予稿集編集(4月)、ホームページ運営、各種広報活動(通年)

(7)技術普及部活動

技術講習会

- ・日 時：2019年8月5日
- ・参加者：16名
- ・場 所：北海道自治労会館（札幌市）
- ・講習内容：『地すべり解析・安定解析』（応用地質（株） 本間宏樹 氏）
『地すべり対策工設計施工事例』（ライト工業（株） 滝澤俊康 氏）
『安定解析演習』（大地コンサルタント（株） 寺井康文 氏）

(8) 緊急災害調査の実施

- ・日 時：2019年6月5日
- ・参加者：14名 北海道地すべり学会・日本応用地質学会北海道支部・
北海道応用地質研究会と合同
- ・場 所：北海道胆振東部地震による斜面災害箇所(厚真町)

(9)シニア会の活動

北海道ランドスライドクラブ

- ・日 時：2019年5月17日
- ・参加者：24名
- ・場 所：TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前(札幌市)
- ・内 容：『話題提供：2018年スイスの旅』（(株)ドーコン 田近 淳 氏）
『故伊藤陽司先生最終講義「場の成り立ちと移り変わりを捉える」(未完)
のパワーポイント資料を見る会と懇談』（(株)ドーコン 田近 淳 氏）

(10)若手の会の活動

若手の会

- ・日 時：2019年5月17日
- ・参加者：15名
- ・場 所：TKP 札幌ビジネスセンター赤れんが前(札幌市)
- ・内 容：『最近のテクノロジーを用いた調査手法と海外の地形・地質の紹介』（(株)構研
エンジニアリング 太田 雄三 氏）
『胆振東部地震震源域周辺の地すべりの分布と特徴』（防災地質工業（株） 中村
研 氏）
『胆振東部地震地すべり事例紹介』（国土防災技術北海道（株） 足立 辰也
氏）

(11) 対外(北海道地すべり学会)協力

①普及活動

(イ)地すべり防災授業『山地防災教育 野外巡検』（高校への出前授業）

- ・日 時：2019年6月12日
- ・対 象：北海道岩見沢農業高校森林科学科3年生40名、教職員4名

(ロ)山地防災キャンペーンでの地すべり模型展示・実演

（主催：北海道水産林務部林務局治山課）

- ・日 時：2019年6月6日～6月7日
- ・対 象：一般市民
- ・場 所：北海道庁1階ロビー(札幌市)

(ハ) ジオ・フェスティバル in Sapporo 2019 での地すべり模型を展示・実演

(主催：ジオ・フェスティバル実行委員会)

- ・日 時：2019年10月5日
- ・対 象：一般市民
- ・場 所：札幌市青少年科学館(札幌市)

(ニ) 普及活動 案内者：明治コンサルタント(株) 溝上 雅宏 氏、(株) ズコーシャ 佐々木 大氏、啓成産業(株) 中田 賢吾 氏、基礎地盤コンサルタント(株) 向久保 晶 氏、日本工営(株) 阿部 大志 氏、(株)、北海道土木設計(株) 中鶴 真也 氏、(株) シビテック 丸山 翔平 氏、ノース技研 沼田寛 氏、(一社) 北海道地質調査業協会 横田寛氏、(株) シビテック 柴田純 氏、和光技研(株) 宿田浩司 氏、(株) 開発調査研究所 伊藤和伯 氏、(株) 地圏総合コンサルタント 銭谷竜一 氏(順不同)

② 研究調査委員会

- ・日 時：2020年2月10日
- ・参加者：30名
- ・場 所：寒地土木研究所 講堂(札幌市)
- ・内 容：『令和元年度 第1回(通算60回) 委員会』
話題提供：「斜面崩壊や洪水・氾濫に対する地形の見方・考え方」 福岡教育大学 黒木貴一 氏

③ 技術委員会

第1回技術委員会

- ・日 時：2019年7月12日
- ・参加者：12名
- ・場 所：松崎南1条ビルディング 2F 会議室(札幌市)
- ・内 容：技術委員会活動について

第2回技術委員会

- ・日 時：2019年9月26日
- ・参加者：12名
- ・場 所：松崎南1条ビルディング 2F 会議室(札幌市)
- ・内 容：話題提供および技術委員会活動について
「地すべり地における溶存酸素を用いたトレーサー試験」(株) 開発工営 中村 祐貴 氏

第3回技術委員会

- ・日 時：2020年1月17日
- ・参加者：15名
- ・場 所：松崎南1条ビルディング 2F 会議室(札幌市)
- ・内 容：技術委員会活動について

12. 東北支部

(1) 支部総会

- ① 日 時 2019年4月22日 13:00~13:45

- ② 場 所 仙台市戦災復興記念館記念ホール
- ③ 参加者 94名（参加85名 委任状9名）

(2)シンポジウム

- ① 日 時 2019年4月22日 14:00～17:30
 - ② 場 所 仙台市戦災復興記念館記念ホール
 - ③ 参加者 199名
 - ④ テーマ 「地すべりの安定化の判断、収束条件
— 概成の考え方、その後の管理の在り方について」 (CPD : 3.20時間)
- 基調講演
- ・「直轄地すべり防止工事の完了の考え方(平成16年1月)」制定の経緯と完了事例
一般社団法人砂防・地すべり技術センター理事 綱木亮介氏
- 講 演
- ・「概成(事業中断)した地すべり再活動と事業再開」 新和設計株式会社 細谷健介氏
 - ・「河川沿いの地すべり再活動」 奥山ボーリング株式会社 荻田 茂氏
 - ・「磐井川地すべりの概成について」 国土防災技術株式会社 大坪俊介氏
 - ・総合討論：司会 金子和亮氏(日本工営)、大村 泰氏(奥山ボーリング)

(3)意見交換会

- ① 日 時 2019年4月22日 18:00～20:00
- ② 場 所 グランテラス仙台国分町
- ③ 参加者 74名

(4)会議等

- ① 役員会
 - ・第1回役員会、兼巡検計画委員会(2019年8月3日 戦災復興記念館会議室 10名)
事業計画・実施状況、2019年度現地検討会実施計画案(巡検計画委員会)等に関する協議
 - ・第2回役員会(2020年1月25日 (株)復建技術コンサルタント会議室 6名)
次期役員人事、2020年度総会・シンポジウム日程、災害追加調査、事業実施状況に関する協議ほか
- ② 拡大幹事会
 - ・第1回拡大幹事会(2018年8月3日 戦災復興記念館会議室 10名)
地すべり現地検討会の計画・実施要領に対する協議ほか
 - ・第2回拡大幹事会(2019年10月19日 東北工業大学7号館 12名)
「2019年台風第19号災害に関する東北学術調査団」に関する支部活動要綱の協議
 - ・第3回拡大幹事会(2019年11月2日 日本工営(株)仙台支店会議室 14名)
合同調査団の実施要領及び調査個所、調査内容に関する協議
 - ・第4回拡大幹事会(2019年11月30日 日本工営(株)仙台支店会議室 8名)
調査結果取りまとめ、合同調査団速報会に関する協議
 - ・第5回拡大幹事会(2020年3月27日) →新型コロナウイルス対策のため中止
- ③ 運営委員会(2020年3月27日)
→新型コロナウイルス対策のため中止し、4/1に役員会として振り替えて実施(8名)

④ 委員会

- ・巡検計画委員会（2019年7月17日 東京 JOGMEC 東京本部 3名）
（独法）石油天然ガス・金属鉱物資源機構と現地検討会及び施設見学に関する協議

⑤ 「2019年台風第19号災害に関する東北学術調査団」に関する合同会議

- ・2019年10月17日 合同打合せ（（一社）土木学会東北支部事務局 2名出席）
- ・2019年11月25日 合同打合せ（（一社）土木学会東北支部事務局 1名出席）

(5) 支部ワーキンググループ「斜面変動研究の次世代コロキウム」

- ① 趣 旨 支部若手～中堅会員の技術的交流の場として、以下を趣旨とした勉強会、分科会活動を行った。今年度は5回を予定したが、台風第19号災害に伴う合同調査団参画や新型コロナウイルスの影響により2回の実施にとどまった。本部の「若手会員対策費」を活用して事業展開した。

② 開催日

- 第1回：8月3日 趣旨・方針説明、分科会参加者自己紹介 参加18名
第2回：10月11日 話題提供5編、分科会報告 参加13名
第3回：2月14日 →新型コロナウイルス対策のため中止

③ 分科会

- ・キャップロック・地下水分科会 2019年6月1日 平根地すべり 参加3名
- ・応用地形判読分科会 2019年11月30日 実習・現地検討会資料作成 参加6名

(6) 東北支部地すべり現地検討会

- ① 期 日 2019年10月2日～3日
- ② 場 所 岩手県八幡平市「八幡平地すべり及び旧松尾鉱山」
- ③ テーマ 「地すべりと地下水流動」
- ④ 参加者 64名（女性6名、男性58名）
- ⑤ 検討会 地すべりと地下水流動をテーマに概成した及び概成を目指すブロックを対象にして、対策状況などの現地視察を行った。また、近接する旧松尾鉱山から排出される強酸性水の坑廃水処理施設を見学した。検討会では八幡平地すべりの概成に向けての意見、坑廃水処理事業に関しての意見交換を行った。
- ⑥ CPD 学会認定単位 JLS7.00 単位、建設コンサルタンツ協会認定 JCCA6.50 単位

(7) 災害派遣調査

2019年10月12日に上陸し、13日にかけて東日本を通過した台風第19号の被害は広範囲にわたり、東北地方の太平洋側には大きな被害をもたらした。東北支部では（一社）土木学会東北支部、（一社）地盤工学会東北支部及び東北大学災害科学国際研究所とともに「2019年台風第19号災害に関する東北学術合同調査団」を結成し、現地調査を実施した。

- ・第1回現地調査 2019年11月9日～10日 宮城県丸森町 参加14名
- ・第2回現地調査 2019年11月16日～17日 宮城県丸森町 参加6名
- ・第3回現地調査 2019年11月23日～24日 岩手県沿岸部 参加20名
- ・第4回現地調査 2020年2月9日 宮城県丸森町 参加6名

(8) 広報活動等

- ① 支部だより第30号の発行(2019年12月20日)
- ② 支部ホームページの更新、情報発信
 - ・東北支部関連の各種事業開催案内、参加募集、委員会活動報告等の掲載など

(9) 関連団体との連携・地域貢献

- ① 「2019年台風第19号災害に関する東北学術合同調査団」への参画
 - (一社)土木学会東北支部、(一社)地盤工学会東北支部、東北大学災害科学国際研究所
 - ・合同調査団「調査結果に関する速報会」
 - (2019年12月14日 東北学院大学土樋キャンパス 参加170名)
 - ・合同調査団本報告会(2020年3月20日) →新型コロナウイルス対策のため延期

13. 新潟支部

(1) 2019年度支部総会

- ・開催日：2019年5月17日
- ・場 所：新潟県民会館小ホール（新潟市）

(2) 第47回地すべりシンポジウム

- ・主 催：(公社)日本地すべり学会新潟支部
- ・共 催：(公社)地盤工学会 北陸支部
- ・後 援：新潟県、(一社)新潟県地質調査業協会、(一社)斜面防災対策技術協会新潟支部、新潟県地すべり防止工事士会
- ・開催日：2019年5月17日
- ・場 所：新潟県民会館小ホール（新潟市）
- ・テーマ：新潟の地すべりに見られる特異な現象
- ・参加者：126名

(3) 新潟県地すべり災害記録CD改訂版の出版

2019年5月17日、2019年版を出版（2018年に発生した地すべり災害記録を追加）

(4) 新潟支部ホームページの管理・運営

支部の活動、行事、出版物等の情報を発信

(5) 海外研究者講演会

- ・主 催：新潟大学災害・復興科学研究所
- ・共 催：(公社)日本地すべり学会新潟支部
- ・開催日：2019年9月15日
- ・場 所：新潟大学駅南キャンパス ときめいと（新潟市）
- ・テーマ：Landslide hazard and risks -some experiences and future challenges-
- ・講 師：Thomas Glade 教授（ウィーン大学地理・地域研究学部）
- ・参加者：20名

(6) 会議記録

幹事会

- 第1回 2019年12月17日開催、15名出席
- 第2回 2020年1月27日開催、16名出席

14. 関東支部

(1) 総会

開催日：2019年5月10日(金)11:00～12:00

場 所：東京大学武田先端知ビル 武田先端知ホール（東京都）

参加者：出席者数42名 委任状数89名 計131名（定足数93名以上）

(2) シンポジウム

開催日：2019年5月10日(金)12:45～16:45

場 所：東京大学武田先端知ビル 武田先端知ホール（東京都）

参加者：117名

テーマ：シンポジウム「最近発生した地すべり災害の実態と対策」

- ・平成29年に長野県飯山市井出川で発生した融雪災害 大丸裕武(森林総合研究所)
- ・平成29年九州北部豪雨(大分県日田市小野地区) 竹下航(土木研究所)
- ・福島県喜多方市揚津地区における地すべり 山口豊(福島県)
- ・平成30年耶馬溪町斜面災害 落合博貴(日本地すべり学会災害調査団)
- ・総合討論(コーディネータ：櫻井正明)
- ・概要集発行

(3) 意見交換会

開催日：2019年5月10日(金)17:15～19:15

場 所：東京大学農学部レストランアブルボア（東京都）

参加者：58名

(4) 現地検討会

① 第1回現地検討会－山梨県御勅使川の砂防・治水の歴史－

開催日：2019年7月9日(火)

場 所：山梨県南アルプス市

協 力：南アルプス市教育委員会文化財課, 山梨県 県土整備部砂防課

参加者：25名

② 第2回現地検討会－富士川付近の第三紀層地すべり－

開催日：2019年11月25日(月)

場 所：山梨県南巨摩郡身延町手打沢地区

協 力：山梨県峡南林務環境事務所

説明者：天野一男（茨城大学名誉教授）

参加者：9名

(5) 斜面協会との共催事業

テーマ：鬼怒川上流の大規模河道閉塞跡と川俣ダムで施工中の岩盤PS工の見学

開催日：2019年11月15日(金)

場 所：栃木県日光市 五十里ダム, 川俣ダム

主 催：(公社) 日本地すべり学会 関東支部, (一社) 斜面防災対策技術協会 関東支部

協 力：国土交通省 鬼怒川ダム統合管理事務所川俣ダム管理支所, 株式会社大林組

参加者：14名

(6) 技術講習会

① 基礎技術現地見学会講習会（若手対策費支出事業）－火山地形・地質入門－貞観噴火による富士山北麓の溶岩地形－

開催日：2019年10月17日(木)

場 所：山梨県南都留郡富士河口湖町・鳴沢村

講 師：千葉達朗（アジア航測株）

参加者：19名

(7) 運営委員会・幹事会

① 運営委員会

・ 第1回 2019年4月18日 港区生涯学習センター（東京都）出席者17名

・ 第2回 2019年12月3日 港区生涯学習センター（東京都）出席者14名

② 幹事会

・ 第1回 2019年4月18日 港区生涯学習センター（東京都）出席者17名

・ 第2回 2019年5月20日 港区生涯学習センター（東京都）出席者16名

・ 第3回 2019年7月1日 港区生涯学習センター（東京都）出席者17名

・ 第4回 2019年8月26日 港区生涯学習センター（東京都）出席者15名

・ 第5回 2019年11月14日 港区生涯学習センター（東京都）出席者14名

・ 第6回 2019年12月3日 港区生涯学習センター（東京都）出席者14名

・ 第7回 2020年3月19日 港区生涯学習センター（東京都）出席者8名

(8) 広報活動等

・ 関東支部 Web ページ更新

(9) 2020年度研究発表会の準備

・ 実行委員会の立ち上げ

(10) 災害調査

対象：令和元年東日本台風（台風第19号）により発生した斜面災害

関東支部で調査団を組織して対応

・ 災害発生 2019年10月12日

・ 情報収集（現地確認を含む）2019年10月13日～10月27日

・ 第1回災害調査 2019年11月4日 群馬県富岡市・甘楽町 6名

・ 第2回災害調査 2019年11月16日 群馬県嬭恋村 3名

・ 第3回災害調査 2019年11月24日 雨天のため中止

・ 第4回災害調査 2019年12月10日 神奈川県伊勢原市 5名

調査協力：群馬県, 神奈川県, 富岡市, 日本サーベイ株, 西吾妻生コンクリート株

15. 中部支部

(1) 運営委員会

2019年4月19日

- ・場 所：ホテル国際21(長野市)
- ・出席者：16名

(2) 支部総会及び特別講演

2019年4月19日

- ・場 所：ホテル国際21(長野市)
- ・講 演：「Society 5.0が作る新しい社会」
信州大学 教授 不破 泰 氏
(信州大学総合情報センター センター長, 地域防災減災センター 副センター長)
- ・参加者：150名

(3) 現地見学会

2019年10月4日

- ・場 所：富山県南砺市利賀村上百瀬地区
- ・参加者：53名

(4) 交流学習会(若手育成事業)【中止】

2019年10月26日

※ 令和元年度東日本台風により中止

(5) 中部支部シンポジウム

2019年11月15日

- ・場 所：ホテル国際21(長野市)
- ・テ ー マ：「災害列島の減災を図る」
～地すべりを予防する新技術と対策設計システムの高度化～

- ・講 演：「国土交通省における技術開発の取組と現状」
国土交通省水管理・国土保全局 砂防部保全課 企画専門官 岩男忠明 氏
「InSAR technologyによる地すべり等の観測」
応用地質(株) メンテナンス事業部 水野敏実 氏
「深層学習を利用した災害地形自動抽出について」
アジア航測(株) 事業推進本部 課長 高遠陶子 氏
「BIM/CIMにおける地すべりへの適用について」
(一財) 砂防・地すべり技術センター砂防技術研究所 宮城昭博 氏
- ・総合討論：「地すべりを予防する新技術の活用及び今後の展望」
パネラー 国土交通省水管理・国土保全局 砂防部保全課 岩男忠明 氏
(一財) 砂防・地すべり技術センター 宮城昭博氏
応用地質(株) 水野敏実 氏
アジア航測(株) 高遠陶子 氏
日本地すべり学会中部支部 顧問 土屋智 氏
コーディネーター 日本地すべり学会中部支部 幹事 飯沼達夫 氏
- ・参加者：90名

(6) 令和元年東日本台風(台風19号)災害調査団派遣

2019年12月12日

- ・場 所：長野県南佐久郡土砂災害現場
 - ・参加者：5名(平松晋也 支部長ほか13名)
- ※ 砂防学会信越支部と共同調査

(7) 中部支部ニュース発行

2020年3月31日

(8) 幹事会

2019年4月12日：長野県土木センター(出席者 17名)

2019年8月7日：長野県土木センター(出席者 15名)

2019年10月21日：長野県土木センター(出席者 11名)

2020年1月18日：長野県土木センター(出席者 19名)

16. 関西支部

(1) 第1回運営委員会

①日時：2019年4月5日

②場所：京都大学防災研究所 E-417D (京都府宇治市五ヶ庄)

③出席者：14名 委任状：5名

④議事：

報告

2018年度第2回運営委員会議事録

2018年度支部事業報告(案)

2018年度行事関係会計報告(案)

会誌「らんどすらいど」No. 34

協賛会員名簿

2018年度支部決算報告(案)

その他

議題

2019年度事業計画(案)

2019年度予算計画(案)

その他

(2) 若手研究発表会

①日時：2019年4月10日 14:00～18:10

②場所：京都大学防災研究所 (京都府宇治市五ヶ庄)

③参加者：10名

④講演者とタイトル

仲 優太郎 (復建調査設計(株))

「広島県広島市安佐北区で発生した地すべり災害の報告」

森 由希奈 ((株)エイト日本技術開発)

「斜面最急勾配方向と地すべり移動方向が異なる場合の対策工検討事例」

大村 宜史 (復建調査設計(株))

「既設モルタル吹付のり面の岩盤すべり崩壊とその対策事例」

美馬 健二 (太田ジオリサーチ)

「傾斜地における人工起振による3成分地震計4台の

土井 一生（京都大学防災研究所）

「斜面崩壊や地すべりが作り出す地震動について
—そもそも揺れる？どこまで検知できる？どんな揺れ？—」

京大防災研見学会の部

(3) 春のシンポジウム「土砂災害の社会経済的影響」開催

①日時：2019年4月11日10:00～17:00

②場所：大阪建設交流館（大阪市西区立売堀）

③主催：（公社）日本地すべり学会関西支部

④後援：（公社）砂防学会・（公社）地盤工学会関西支部

（一社）建設コンサルタンツ協会近畿支部

（一社）斜面防災対策技術協会 関西支部

⑤参加者：67名

⑥講演者とタイトル

宅地地盤災害について —どういふ場所が被災するの—

京都大学防災研究所 釜井 俊孝

技術士会による被災者支援活動について —どんな技術的相談がある—

日本技術士会中国本部防災委員長（中電技術コンサルタント(株)）古川 智

被災者の生活再建全般の支援活動について —法的相談も含めてどんな支援が必要
なの—

広島弁護士会 災害対策委員会委員長 今田 健太郎

風水害の人的被害について —どこで、どういふ人が被災しているの—

静岡大学防災総合センター 牛山 素行

災害報道について —どう伝えるのが効果的なのか、何を目的として伝えるの—

日本放送協会 鹿児島放送局 副部長 島川 英介

パネルディスカッション 「我が家の生存戦略 —未災学の可能性—」

司会 釜井 俊孝（京大防災研）、パネラー 話題提供者

(4) 関西支部 総会

①日時：2019年4月11日11:40～12:00

②場所：大阪建設交流館（大阪市西区立売堀）

③議題：2018年度活動報告

2018年度決算報告

2019年度予算・活動計画

(5) 講習会「UAV・GNSS講習会」

①日時：2019年6月14日

②場所：池田総合体育館（徳島県三好市池田町）

③主催：（公社）日本地すべり学会関西支部

④共催：（一社）日本応用地質学会中国四国支部，（公社）砂防学会中四国支部

⑤参加者：24名

⑥講演者

無人航空機の基礎と規制法

京都大学防災研究所・山崎新太郎准教授

衛星測位システムの基礎と数値地形モデル作成における測量の実際

北見工業大学・渡邊達也助教

数値地形モデルの作成実習1－三次元モデリングソフトウェア入門

北見工業大学・渡邊達也助教

数値地形モデルの作成実習2－GCPの設定とDSMの作成

北見工業大学・渡邊達也助教

数値地形モデルを利用した地形変化の解析実習

京都大学防災研究所・山崎新太郎准教授

(6)2019年度現地見学会及び現地討論会「平成30年7月豪雨災害の概要と復旧状況について」

①日時：2019年10月18日～10月19日

②場所：現地見学会 広島県安芸郡坂町小屋浦地区・広島県東広島市国際大学周辺
討論会 広島大学総合科学部 L201 教室

③主催：(公社)砂防学会中四国支部・(公社)日本地すべり学会関西支部

④後援：国土交通省中国地方整備局、広島県、(公社)地盤工学会中国支部

⑤参加者：34名

⑥講演者とタイトル

平成30年豪雨災害を踏まえた広島県の取り組み

広島県砂防課 山本悟司課長

東広島地区民有林直轄治山事業について

林野庁近畿中国森林管理局 山地災害復旧対策室 津脇晋嗣室長

危ない地形・地質の見分け方

(公社)地すべり学会 上野将司

山間部における土砂災害の危険度分布と防災対策－土石流シミュレーションの活用－

広島大学大学院 長谷川祐治

パネルディスカッション

コーディネーター 海堀正博 (広島大学大学院)

パネラー 話題提供者他

(7)第2回運営委員会

①日時：2019年11月1日

②場所：京都大学防災研究所E-417D(京都府宇治市五ヶ庄)

③出席者：11名 委任状8名

④議事

報告

2019年度第1回運営委員会議事録

2019年度支部事業報告

シンポジウム

講習会
現地討論会
行事関係会計
2019年度今後の事業予定
会誌「らんどすらいど」No. 35

(8) 「らんどすらいど35」会誌の発行・発送

①日時：2020年1月24日

②執筆者とタイトル

3成分加速度計を用いたレイリー波の可視化

美馬健二・太田英将（有限会社太田ジオリサーチ）

既設モルタル吹付のり面の岩盤すべり崩壊とその対策事例

大村宜史（復建調査設計株式会社）

名取トンネル地すべりの災害復旧と対策

原田敏雄（株式会社 エスイー大阪支店）

国道197号名取トンネル地すべり災害復旧事例

柴崎宣之（日本工営株式会社）

2018年度支部行事報告

2018年度決算

2019年度予算

編集後記

松浦純生（京都大学防災研究所）

17. 九州支部

(1) 支部幹事会

- ・開催日：2019年6月3日 13:00～14:00
- ・会場：福岡市(TKP博多駅前シティセンター カンファレンス6)
- ・参加者：13名、委任状32名

(2) 支部総会

- ・開催日：2019年6月3日 14:00～15:00
- ・会場：福岡市(TKP博多駅前シティセンター カンファレンス6)
- ・参加者：13名

(3) 共催事業

2019年度 現場見学会(第11回)

- ・共催：(一社)斜面防災対策技術協会九州支部、九州地区地すべり防止工事士会
- ・開催日：2019年11月1日 8:50～17:00(博多駅集合解散)
- ・場所：福岡県朝倉市、八女市
- ・参加者：35名

事業報告の附属明細書

「事業報告の内容を補足する重要な事項」は特にないため、附属明細書は作成しない。